

教科名	コールドワークⅡ	曜日 時間	木曜日、金曜日 9:10～15:50	担当教員名	イーリ・スヒー
-----	----------	----------	-----------------------	-------	---------

		前期指導案		後期指導案	
（年 間 2 回 授 業 日）	4月	17 18 24 25		10月	
	5月	1 2 8 9 15 16 22 23 29 30		11月	
	6月	5 6 12 13 19		12月	
	7月	3 4 10 11 17		1月	
	9月			2月	
方授 法業	（ 講義 ・ <b>実技</b> ）			（ 講義 ・ 実技 ）	
授 業 内 容	<p>個人課題 学生の個々のスキルとアートプロジェクトと課題に焦点を当てる。課題は卒業制作に関連したものとなる。 <b>テーマ：ガラス表面の加工・処理、テクスチャー加工</b> 完成した作品を富山市ガラス美術館で展示する</p> <p>ウォーターサンダー機の使用 1) ガラスの形作り - ダイヤモンドヘッドの使用：グラインディング 2) ダイヤモンドパッド - グラインディング、スムージング、プレポリッシング、ポリッシング 3) 磨き用パッド - パミス1,2 プレポリッシング - セリウム ポリッシング 毛ブラシの使用 パミス1,2 プレポリッシング</p> <p>道具の使用 1) ダイヤモンドスポンジ 2) その他スポンジ類ややすりなど</p> <p>友ざり ガラス片やガラスブロックと研磨剤の使用 グラインディング、スムージング、プレポリッシング 酸洗いの紹介</p> <p>講評日：7月11日</p>				
到 達 目 標	<p>個々のスキルに焦点を当てる。コンセプトの明確性やコンセプトとの向き合い方、デザイン性と作品の完成度の向上。課題は卒業制作に関連したものになる。自身で選んだコールド技術の向上、その応用、及び慎重で丁寧な加工。</p>				
成 績 評 価	<p>オリジナリティー、作品の持つ意味や重要性、課題制作過程におけるコミュニケーション、作品の精度と品質の追求、時間管理、責任感。</p>				
事 留 意	<p>各作業ステップを丁寧に実行し、相談する。</p>				